



2021年4月20日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号：4588)
問 合 せ 先 取締役経理担当 吉村 圭司
(TEL.03-5472-1578)

新型コロナウイルス感染症治療薬 OBP-2011 の 共同開発契約に関するお知らせ

当社は、現在開発を進める新型コロナウイルス感染症治療薬 OBP-2011 に関して、前臨床・前臨床試験の実施支援をはじめとした医薬品開発関連事業を行う株式会社新日本科学（以下、「新日本科学」という）と共同開発契約（以下、「本契約」という）を締結することを合意いたしましたので、お知らせいたします。

OBP-2011 は、新型コロナウイルス感染症の発症初期に対する経口治療薬を目指し、現在、前臨床試験が進められています。本契約は、今後予定されている OBP-2011 の前臨床試験における開発スピードを上げ、臨床試験開始までの期間を短縮することを第一の目的としています。

また、OBP-2011 は、現在までに行われた探索的な薬物動態試験や安全性試験において、経口吸収性が認められ、一方で、問題となる毒性の兆候は認められていません。薬理試験においては、ブラジル型やロンドン型などの変異型コロナウイルスに対しても効果が期待できることなどが確認されています。

さらに、当社は、OBP-2011 原薬の GMP 製造についても、すでに岩城製薬株式会社と委託に関する基本合意を行っています。当社が有するウイルス学に立脚した創薬技術を駆使するとともに、鹿児島大学、および岩城製薬、新日本科学との開発体制を活かし、2022 年上半期には、臨床試験の開始に必要な主要な薬理試験、薬物動態試験、あるいは安全性試験など OBP-2011 に関わる前臨床試験を完了し、直ちに治験届を提出することを目標としています。

本件による 2021 年 12 月期業績への影響は軽微であり、2021 年 2 月 12 日に開示しました通期業績予想に織り込み済みです。なお、現時点で、当社と新日本科学の間で、OBP-2011 の知的財産権に関する権利関係は発生していません。

以 上